

岡谷市幼児教育・保育大綱（案）



武井武雄「どうぶつえん」1929年 ©岡谷市/イルフ童画館

令和7年 月
長野県岡谷市

はじめに

市内には、令和7年4月現在、公立保育園が12園（うち2園は休園中）あり、こどもの最善の利益を考慮しながら、公立保育園共通の「保育目標」を掲げ、日々の保育園運営にあたっています。

こうした中、現在の保育環境に関しては、少子化に伴う児童数の減少や、労働人口の減少に伴う慢性的な保育士不足、時代を支えてきた保育施設の老朽化など、さまざまな課題があり、子育て環境の変化や多様化するニーズにも対応しながら、安全で安心な保育の提供に努めているところです。

一方、国はすべてのこどもに質の高い教育・保育を提供することを目標に掲げ、平成27年4月から「子ども・子育て支援新制度」を施行し、幼児期のこどもが利用する保育所や幼稚園に加え、両機能をあわせ持つ認定こども園の制度改正を行い、施設型給付制度の創設などの改革を進めました。

また、国が定める「保育所保育指針」や「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」は、省庁間の連携により、幼児期の教育・保育の基本的な目標やねらいなどの大切な部分について園種を超えた調和が図られ、これらの指針や要領のもと、各地において、認定こども園の設置や移行への取組が進められています。

本市では、令和5年3月に策定した「岡谷市保育園整備計画中期計画」において、次の保育園整備にあたり、保護者の就労形態の変化や、地域特性に応じた多様な形態による保育サービスや幼児教育を提供するため、公立の幼保連携型認定こども園への移行を基本とする方針を位置づけました。

この計画では、次の施設整備地区を市内西部地区として、幼児期から義務教育期までの一貫した教育を提供する「川岸学園構想」に位置づけ、周辺に点在する公立保育園4園を集約した公立初の幼保連携型認定こども園を整備することとしています。

このことから、本市における従来からの「保育目標」に見直しを加え、「幼児教育・保育目標」として掲げる必要があり、国の指針や要領などを踏まえ、「岡谷市教育大綱」との整合を図るなかで、新たに「岡谷市幼児教育・保育大綱」として制定するものです。

1 幼児教育・保育目標

幼児期はさまざまな体験を積み重ねるなかで、心身ともに健やかに成長し、将来の生きる力の基礎を培う大切な時期です。安定した情緒や豊かな感性を育むためには、すべての園児が安心感や信頼感をもって活動できる環境を整える必要があります。

このたび、幼児教育の視点から「学び」の要素が加わりますが、これまで適切な保育環境のもとでこどもたちの成長を促してきたことの延長であり、包含する意味合いを持つものとして、新たに次のように理念およびめざすこども像を定め、本市における「幼児教育・保育目標」とします。

(1) 理念

- ・安心して過ごせる行き届いた環境のもと、こどもたちの健やかな成長を促し、安定した情緒と豊かな感性を育みます。
- ・豊かな活動を積み重ねて、幼児期に必要な資質と能力を高め、心身の調和のとれた発達を促します。
- ・さまざまな体験や人とのふれあいに満ちた「学び」と「育ち」の環境のなかで、生きる力の基礎を培います。

(2) めざすこども像

- 明るく元気に学び、自ら行動できるこども
- 自分を大切にし、相手を思いやるやさしいこども
- よく考え豊かに想像し、自分なりに表現できるこども



2 目標の基礎となる考え方



(1) おかや子育て憲章（平成14年4月1日制定）

わたくしたち岡谷市民は、
未来を担う子どもたちの健全な成長を願い、
子どもの心の自立を支えるため、
市民総参加による子育てのまちづくりを進めます。

わたくしたちは、
明るく元気で健やかな子どもに育てます。
命を大切にし、感謝の心と思いやりのある子どもに育てます。
自ら求め、粘り強くやり抜く子どもに育てます。
行動に責任を持ち、ひとり立ちのできる子どもに育てます。
力を合わせて人のために尽くし、郷土を愛する子どもに育てます。

(2) 第3期岡谷市教育大綱（令和6（2024）年～令和10（2028）年）

教育の理念

～自立し、共生し、創造性溢れる『岡谷のひと』づくり～

分野別スローガン

- 学校教育「生き抜く力と創造力、知的好奇心溢れる心豊かなひとづくり」
- 生涯学習「歴史と文化を礎に、自ら学び続け、地域で輝くひとづくり」
- スポーツ「親しみ、挑戦し続ける、たくましい心と体のひとづくり」

(3) 岡谷市の幼児教育・保育のねらい

幼児期の教育および保育は、生涯にわたる資質や能力の基礎を形成する重要な役割を担っており、これらは環境を通して育まれるものという認識に立って実践することが求められています。

保育所や認定こども園が拠るべき基本的事項を位置づけた国の「保育所保育指針」および「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」のなかでは、「幼児期において育みたい資質・能力」が示されています。また、教育・保育を実践するにあたって、各領域のねらいと内容を明らかにするため、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」としてまとめられています。

これらを、本市における「幼児教育・保育目標」の実現のための基礎となる考え方として取り入れ、「岡谷市の幼児教育・保育のねらい」として位置づけています。



＜幼児期において育みたい資質・能力＞

知識及び技能の基礎……………豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする力

思考力・判断力・表現力等の基礎…気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする力

学びに向かう力、人間性等……………心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする力

「出典：保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領」

＜幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿＞

ア 健康な心と体

保育所の生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

イ 自立心

身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

ウ 協同性

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

エ 道徳性・規範意識の芽生え

友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。



オ 社会生活との関わり

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気づき、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、保育所内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。

カ 思考力の芽生え

身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気づき、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

キ 自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気づき、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになる。

ク 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

ケ 言葉による伝え合い

保育士等や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。

コ 豊かな感性と表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気づき、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

「出典：保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領」



岡谷市幼児教育・保育目標

令和7年 月策定

【理 念】

- ・安心して過ごせる行き届いた環境のもと、こどもたちの健やかな成長を促し、安定した情緒と豊かな感性を育みます。
- ・豊かな活動を積み重ねて、幼児期に必要な資質と能力を高め、心身の調和のとれた発達を促します。
- ・さまざまな体験や人とのふれあいに満ちた「学び」と「育ち」の環境のなかで、生きる力の基礎を培います。

【めざすこども像】

- 明るく元気に学び、自ら行動できるこども
- 自分を大切にし、相手を思いやるやさしいこども
- よく考え豊かに想像し、自分なりに表現できるこども



岡谷市幼児教育・保育大綱 ver.1

発行年月：令和7(2025)年 月

発 行：岡谷市健康福祉部子ども課